

院内トリアージの実施についてのご案内

□はじめに

救急外来は、迅速な医療を必要とする緊急度の高い患者を対象として24時間体制で受け入れている外来です。このため、救急外来での治療行為は、緊急対応や応急処置が中心となります。

近年、全国各地で「平日休めない」や「日中は用事がある」等の理由で、本来重症者の受け入れを対象とする救急外来を、症状が軽い方が時間外や休日に受診をするといった実態があり、当院もその例外ではありません。

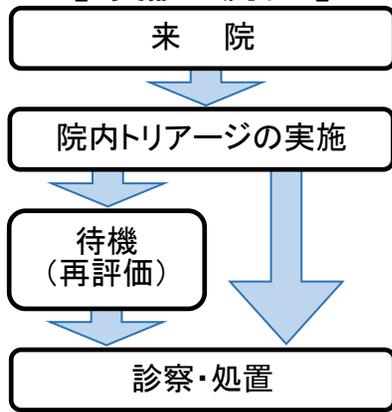
このことから、緊急度の高い患者に優先度に応じて、医療を提供できる体制の確保の一環として、救急外来では院内トリアージ(優先順位の設定)を実施しています。

院内トリアージとは

受付後、診察前に専門知識を有した看護師が症状をうかがい、緊急度・重症度を判断し、より早期に治療を要する方から優先して診察する方法です。

したがって、受付順の診察ではないため、待ち時間が長くなる場合があります。

【受診の流れ】



《院内トリアージ》

5段階の緊急度判定(JTASに準拠)

レベル1: 蘇生レベル

レベル2: 緊急

レベル3: 準緊急

レベル4: 低緊急

レベル5: 非緊急

レベル1が最も緊急度が高い。

【JTASの緊急度判定】

蘇生	直ちに診察、治療が必要	心停止 痙攣持続 重症外傷 高度の意識障害 重篤な呼吸障害 など	ケア継続
緊急	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 重篤な体温異常 激しい頭痛、腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自殺行為 など	15分毎の再評価
準緊急	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 痙攣後(意識回復したもの) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛、腹痛 活動期分娩 など	30分毎の再評価
低緊急	1時間以内に診察が必要	尿路感染症 縫合を要する創傷(止血あり) 不穏状態 など	1時間毎の再評価
非緊急	2時間以内に診察	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷 処方、検査希望 など	2時間毎の再評価

ご理解とご協力をお願い致します。
病院長